

# JATA

http://www.jata-net.or.jp/ **Communication**

じゃたこみ



2017年  
9月10日発行  
vol.127

発行 一般社団法人日本旅行業協会広報室  
〒100-0013 東京都千代田区霞が関3-3-3 全日通費が関ビル3階  
TEL:03-3592-1271(代表) TEL:03-3592-1244(広報)  
FAX:03-3592-1268

## 開幕直前特集

熱い論戦に期待  
海外・国内・訪日テーマ別シンポジウム

参加しないと損する  
注目のプロフェッショナルセミナー

創ろう。ツーリズムの「新しいカタチ」。

世界最大級 旅の祭典  
**ツーリズムEXPOジャパン**  
2017 9/21(木)-24(日) [会場] 東京ビッグサイト <http://t-expo.jp>

9月21日開幕 ツーリズムEXPOジャパン2017  
観光ビジネス拡大へBtoB強化  
主催団体トップ3氏からのメッセージ  
田川JATA会長、山口日観振会長、松山JNTO理事長

# 観光ビジネス拡大へB to B強化 「ツーリズムの新しいカタチ」目指す

公益社団法人日本観光振興協会(日観振)とJATA、日本政府観光局

(JNTO)は9月21日から24日までの4日間にわたり、今年で4回目となる「ツーリズムEXPOジャパン(TEJ)2017」を東京有明の東京ビッグサイトで開催します。今年からJNTOが主催者に加わり、文字通り、海外旅行・国内旅行訪日旅行の「三位一体」が実現したTEJ2017は、過去3回の実績も踏まえてB to B機能の強化などを前面に打出し、第2ステージの新たな段階を迎えます。

## 「商談会」 質量拡充しネットワーク強化

2014年から2016年の第1ステージを経たTEJは、2017年からの第2ステージではB to Bの強化完成を

目指し、観光ビジネスの開拓拡大の促進を目指します。

国内アウトバウンド商談会では、商談の質量の拡充とネットワーク強化を図る施策が実施されるほか、訪日ランドオペレーター商談会が新設され、訪日手配を取り扱うツアーオペレーター品質認証制度登録旅行会社などがバイヤーとなり、国内自治体や国内サプライヤーと商談を行います。

展示会でも商談環境を整備してB to Bの強化を図り、「展示会」から「展示商談会」へ進化し、出展ブースで様々な業界関係者と出展者が商談を行い、ビジネスの場としてのネットワーク機会を提供します。エストニア政府観光局、ラトビア投資開発公社、リトアニア政府観光局の日本代表を務めるフォーサイトマーケティングの能登重好代表取締役は、エストニアとラトビアなど

が取り組んでいる「田園ツーリズム」というテーマ観光について展示商談会で旅行会社の担当者へアピールする方針で、「国単位のツアーだけでなく、テーマを軸に各国を訪れる新たなツアーの商品開発も促したい」と考えます。

訪日ランドオペレーター商談会にバイヤーとして参加を予定しているエイチ・アイ・エス訪日事業本部関東事業グループ・B to B事業グループの関直樹グループリーダーは、「単に情報を収集するだけでなく、何か新たな発見ができれば」と商談会への期待を表明。「安全やコンプライアンスの部分もカバーしながら、商材を提供してもらっただけでなく、一緒に新しいものを作り上げていくようなパートナーを見つけることも、商談会に参加する重要な側面の一つ。造成側がワクワクするようなコンテンツを創らなければ、コンシューマーには響かない」と関グループリーダーと意欲を示しています。

## 「海外展」

### 注目のバルト三国を特集展開

海外部門の展示では、「海外旅行の復活」に向けて、新たなステイネーションとして日本市場でも注目されているバルト三国のブースが特集展開されます。

フォーサイトマーケティングの能登代表取

締役は、「日本では1991年にバルト三国が再独立した時のイメージを持っている方が多いが、その後の発展は目覚ましく、再独立当時とは全く違う雰囲気になっている」と指摘。「そうしたバルト三国全体のプロモーションを底上げすると同時に、それぞれの国についても独自の特徴について理解を深めてもらえるようにしたい」と語っています。

バルト三国それぞれの特徴をアピールするために、リトアニアからは合唱団、ラトビアからは民族楽器クアクレのプレーヤーも来日して演奏を披露するほか、ブースでは業界のキーパーソンによるパネルディスカッションや国別のセミナーも実施される予定です。

能登代表取締役は、「3つの国がそれぞれに首都以外にも特色のある地域が多く、旅行業界の皆さんにはスケールメリット型のビジネスモデルではなく、ユニークな素材を活かした付加価値の高い商品づくりによって、高収益を実現できるステイネーションとしてもバルト三国に注目していただきたい」と訴えています。

また、ブース出展する旅行会社の間でも様々な工夫が凝らされることとなります。

エイチ・アイ・エスでは、カナダのオーロラツアーをブースで体験してもらう仕掛けを計画。同社関東販売事業部営業販売チームの久根下雅大氏によると、VR(バーチャルリアリティ)によるオーロラの映像を見るだけでなく、実際に極寒の現地での環境も体感してもらおうと、氷点下30度まで設定できる冷凍コンテナを用意する予定です。

「ベンチコートを着て、冷凍コンテナの中でVRのオーロラを見ることで、実際にカナダ



中世ドイツ風の街並みが残るエストニアの首都・タリン旧市街 ©Visit Estonia



ラトビアの首都・リガ旧市街の市庁舎広場とプラクヘッドの会館



リトアニア・ガルヴェ湖の島の上に建つトゥルカイ城

へ行ってみたいという動機に繋げることができれば」（久根下氏）

同社では、パリで人気のグルメバス「バストロノーム」で貸切ランチのプランも実施しており、バストロノームの車内をイメージした展示ブースで、VR体験してもらうことにしています。

## 『ジャパン・トラベル・マンス』文化庁は「日本遺産」をテーマに出展

「見つけよう。旅の『新しいカタチ』。」をテーマに掲げるTEJ2017は、観光庁・文化庁スポーツ庁の3庁との連携による「ジャパン・トラベル・マンス」（9月21日～11月3日）のキックオフを飾る中核イベントとしての役割も担う形となります。

今年の「ジャパン・トラベル・マンス」は、新たに環境省も参画し、「スポーツ、文化そして、自然を感じて旅する秋」をテーマに、TEJの主催3団体と3庁、環境省の7



パリで人気のグルメバス「バストロノーム」

団体で連携をさらに強化する方針です。

TEJ2017における国内部門の展示会場では、文化庁が日本遺産を集合的に紹介し、一般来場者と業界来場者の双方に向けて、新たな観光資源・観光素材としての日本遺産の意義や魅力を積極的にアピールする予定です。

文化庁文化財部記念物課の佐藤宏之企画調整係長は、TEJ2017への出展について、「今年度の『ジャパン・トラベル・マンス』における取り組みの重点項目として日本遺産も位置付けられており、観光機運醸成という目的に最も合致するTEJ2017で日本遺産を紹介することになった」と説明しています。

日本遺産は、地域の歴史的な魅力や特色を通じて日本の文化・伝統を語るストーリーとして文化庁が認定するもので、ストーリーを語る上で欠かせない有形・無形の様々な文化財群を、地域が主体となって総合的に整備・活用して、国内だけでなく



日本遺産「日が沈む聖地出雲～神が創り出した地の夕日を巡る～」(2017年4月認定)

海外へも戦略的に発信し、内外からの旅行流動を通じて地域の活性化を図ろうというものです。

「今年度新たに認定された17件を中心に、3カ年度で54件となった日本遺産は、認定地域を訪れてもらうことで理解を深めていただけたらと思う。日本の歴史や文化の魅力を再発見・再認識する新たな旅の切り口ともなりうるもので、TEJ2017のテーマである「旅の『新しいカタチ』」と重なり合うと考えている」（佐藤企画調整係長）

## 『主催者企画』「産業観光」で国内観光を活性化

旅行形態の変化や旅行者ニーズの多様化が進む中で、テーマ性が強く体験型・交流型の要素を取り入れた「新しいカタチ」の観光として、いわゆる「ニューツーリズム」への関心が改めて高まっていますが、エコツーリズムやグリーンツーリズム、ヘルスツーリズムなどとともに産業観光にも注目が集まっています。

TEJ2017では、リピーター率も高く日本各地で取り組みが可能な産業観光について、日本の近代化を支えた産業遺産、日本のモノづくりを支える匠の技、世界的に評価されている最先端技術など、様々な産業に対する知的好奇心を満たすコンテンツと捉え、国内部門の展示会場で主催者企画として特集ブースを展開。「より深い旅」「もっと知りたくなる旅」として産業観光を紹介し、旅行者への周知や国内旅行の活性化を図ります。

地方自治体や国内の産業観光団体・企



「ものづくりの街」として産業観光の振興を図る北九州市

業などのコンテンツが集約される形となる産業観光特集企画に出展する北九州市は、「観光地としてよりも、世界遺産にも登録された官営の八幡製鐵所の開業以来、ものづくりの街としての知名度が高いことから、産業観光の街としてのイメージを訴えたい」（経済産業局観光にぎわい部観光課）考えです。

同市観光課の泊圭子環境もものづくり担当係長は、「まだ募集型の旅行商品として難しい面もあると思うので、企業の視察旅行や学校の教育旅行などのテーマとして関心を持っていただけたら、積極的に情報提供を行って体制も整えていきたい」と説明。「業界の皆さんと直接話ができるので経済効果に直結することも見込まれる一方で、一般の方に産業観光がどのくらい認知されているのかを知りたいとも思っており、業界と一般の双方にアプローチできるTEJは貴重な場と考えている」と語り、初出展への期待を示しています。

# 主催団体トップ3氏からのメッセージ

世界のツーリズムをリードする総合観光イベントとして2014年にスタートした「ツーリズムEXPOジャパン(TEJ)」。今年からは、日本旅行業協会(JATA)と日本観光振興協会に加えて、日本政府観光局(JNTO)が主催団体として名前を連ね、新たな観光ビジネスの創出と発展を目指す第2ステージに入ります。主催3団体のトップ3氏に、「TEJ2017」への期待と意気込みを語っていただきました。

※この記事は、観光経済新聞社が企画した座談会を、本誌が独自に構成したものです(写真提供:観光経済新聞社)

## 旅の新しいカタチの創出を

田川博己

日本旅行業協会(JATA)会長

昨年までの3年間の第1ステージでB to Cは形ができあがりしました。今年からの第2ステージでは、B to B機能の強化を目指します。出展者も旅行会社もそれぞれの役割と強みを認識し、自らの考え方や思いを積極的に訴えていただきたいと思っています。B to Cの場面では、観光地や旅行商品の魅力をお客様が感じ取ってくださるので、「キャッチャー」的なスタンスでもビジネスは出来ます。しかし、B to Bの場面になると、「ピッチャー」的なアプローチで相手のニーズに合わせて能動的に企画提案をしなければビジネスを成立させるのは難しくなります。

「TEJ2017」では、お客様向けには「見つけよう。旅の『新しいカタチ』」。B to Bでは「創ろう。ツーリズムの『新しいカタチ』」。というメッセージを掲げています。時代が変わる中で、旅やツーリズムの「新しいカタチ」を追求していくということですね。サブライヤーも旅行会社も、パンフレットを並べれば良いという時代ではありません。今回の出展では体験なども含めて、観光地や旅行商品の魅力を網羅的に発信する工夫が凝らされます。また、展示会場で「商談」するしつらいとなっています。自らが関係する



ブースだけにどまらず、展示会場をくまなく見ていただき、「新しいカタチ」の創出について考えるヒントをつかんで欲しいと思います。

## 実り多い具体論を目指す場に

山口範雄

日本観光振興協会会長

人口減少や地方創生への取り組み、多様化する旅行需要への対応、インバウンドの拡大も踏まえた2020年以降への準備、グローバル競争の克服など、ツーリズムが直面する課題への対処を実り多い具体論とするためには、観光産業における様々なレベルでの連携を進めなければなりません。異業種との連携や地域との連携も必要ですし、地域間における自治体同士の連携なども求められています。また、自動車産業に匹敵すると言われるほど裾野の広い観光産業に働く皆さんは、もっと誇りを持って仕事をすべきです。GDPに占める観光産業の割合などの数字も議論されるようになってきているわけですから、日本経済を担っているという自負を持つて良いと思います。さらに、米国におけるトランプ現象や欧州における英国のEU離脱など、保護主義的あるいは内向きの方向に世界が動き始めている中で、観光産業は、草の根レベルでポーターレスに旅をしたり物事を考えたりする機会を通じ、人類共通の価値観を形成する役割も果たしています。相互理解や世界平和の実現に向けて大きく貢献できるのです。観光産業を担う関係



者が力を合わせて実り多い具体論を目指す貴重な場であるTEJ2017への積極的な参画をお願いしたいと思います。

## 「三位一体」でB to Bを加速

松山良一

日本政府観光局(JNTO)理事長

今年からTEJの主催者として名前を連ねることになり、大変に光栄です。B to Bの強化という方向性を打ち出しているTEJは、JNTOの参画によって海外旅行・国内旅行・訪日旅行という「三位一体」のイベントとなり、B to Bという方向性を加速させる大きなトリガーとして機能したいと考えています。訪日インバウンドが急速に増加する中で、観光をビジネスとして本格的に確立していくために、どうすればいいのか。関係者がそれぞれの持ち場で強みを発揮しつつ連携してビジネスを拡大していくことを考える節目のタイミングを迎えています。TEJ2017の期間中には日本経済新聞社との共催により、観光をビジネス題材とする展示会「インバウンド・観光ビジネス総合展」がTEJ2017のフェアinフェアとして開催されます。これからインバウンドをビジネスにしようと考えている皆さんが沢山集まってくるから、様々な形で新たな連携の可能性も広がると考えています。訪日インバウンドという人の流れが拡大する中で、新しいニーズも発生していますから、ビジネスチャンスも大きく広がっています。観光産業を日本の基幹産業に育てていくという気概を持って、皆さんと一緒に取り組めることを大変嬉しく思います。



観光産業を日本の基幹産業に育てていくという気概を持って、皆さんと一緒に取り組めることを大変嬉しく思います。

## ツーリズムEXPOジャパン2017 開幕直前特集

### 観光ビジネス拡大へBtoB強化

「ツーリズムの新しいカタチ」目指す..... 1~2

### 主催団体トップ3氏からのメッセージ

田川JATA会長、山口日観振会長、松山JNTO理事長..... 3

参加しないと損する 注目のプロフェッショナルセミナー..... 5~6

### テーマ別セッション(海外・国内・訪日)

外部団体との連携でイノベーション・セミナーも..... 7

### 第3回ツーリズムアワード

南三陸ホテル観洋が大賞を受賞..... 8

## アウトバウンド促進協議会通信VOL.6

オセアニア・大洋州チーム 飯島伸二部会長に聞く

同じ時期に同じ場所を集中的に..... 9

## 〈本部活動報告〉

・四国最大級「えひめ旅フェスタ」に7800人

JATA中四国支部愛媛地区委員会などが開催..... 10

・九州支部がボランティア活動を実施

「北部豪雨災害」の被災地で泥出し作業..... 10

・関西支部、「海の日」を考える催し実施..... 10

支部活動..... 10

日本人出入国者数(速報値) 7月は3.2%増148万2000人..... 15

### ●読み物&マーケティング

・連載マーケットデータ深読み オープンデータとJTレポートから2016年の旅行者の動きを見る..... 11

・添乗員のための旅行医学VOL.90 ワクチン接種で感染症疾患への予防を..... 12

・ハイにちら消費者相談室 苦情事例に学ぶ⑥ 今回のテーマ:キャンセルの連絡をしたのに..... 13

・法務の窓口 第56回 営業保証金制度と弁済業務保証金制度..... 14

### ●素材研究

(国内)銀の馬車道・鉱石の道(兵庫県) 近代化の記憶をたどる2つの「道」..... 16

●日中45周年プロジェクト 福建省 独特の自然・民俗から生活文化まで..... 17~18

●事務局だより)..... 15

### 表紙写真

ツーリズムEXPOジャパン(TEJ)2017のテーマは「見つけよう。旅の『新しいカタチ』」(BtoC)、「創ろう。ツーリズムの『新しいカタチ』」(BtoB)。キービジュアルでは万華鏡をモチーフに、無限に生み出される「新しいカタチ」が表現され、体験型ツーリズムの立体的な深まりや多様性をアピールすることで、「TEJ2017」への参画や来場を促しています。

### 「日中国交正常化45周年」ロゴの使用について

2017年は日中国交正常化45周年という記念すべき年となります。当協会では、中国国家観光局などのご協力をいただきながら、「再発見!中国」をテーマに日中両国の観光交流を推進してまいります。中国旅行の需要喚起、拡大に向けた施策を推進するためにロゴマークを作成しましたのでご利用ください。

<https://qooker.jp/Q/automatic/kaigai2017/171231/>



発行 一般社団法人 日本旅行業協会広報室  
〒100-0013 東京都千代田区霞が関3-3-3  
全日通霞が関ビル3階  
TEL:03-3592-1271(代表) TEL:03-3592-1244(広報)  
FAX:03-3592-1268  
<http://www.jata-net.or.jp/>



# ツーリズム EXPO ジャパン 2017に出展します!

旅行業基幹業務システム **symphony Atwo**  
シンフォニー アトウ

- 1 情報共有のあり方を刷新! 電子カルテの運用を確立します!
- 2 ノートブックでも、タブレットでも! 完全モバイル対応を実現!
- 3 グループウェアソフト不要! 旅行業システムの概念を変えます!



株式会社 ウィ・キャン  
<http://www.we-can.co.jp/>

本社: 東京都港区元赤坂1-1-8 赤坂コミュニティビル6F / 03-3423-2161  
大阪: 大阪市淀川区西中島5-11-10 第三中島ビル4F / 06-6390-3321

参加しないと損する

9月22日(金) 業界日限定

# 注目のプロフェッショナル・セミナー



昨年プロフェッショナル・セミナーで講師の話に耳を傾ける参加者ら

「ツーリズムEXPOジャパン(TEJ)2017」では9月22日(金)、東京ビッグサイトの東展示棟で、業界日限定プログラムの「ツーリズム・プロフェッショナル・セミナー」を実施します。観光産業に携わる皆さんに一流のプロフェッショナルとなっただけのよう企画されたセミナーです。奮って、ご参加ください。

## 国内・訪日旅行担当者向け

◎**タイトル** 貸切バスの運賃・料金制度等と国内募集型企画旅行における貸切バス会社名の表記に関する説明会

◎**概要** 国土交通省自動車局、観光庁が旅行者等との関係強化や運賃・料金制度について説明し、また国内募集型企画旅行における貸切バス会社名の表記についてJATA法務コンプライアンス室が説明します

◎**詳細** 講師：国土交通省自動車局、観光庁、JATA法務コンプライアンス室内山信夫副部長／会場：Aステージ 東1ホール／時間：10：30～12：30／収容人数：300人

◎**タイトル** 新しい通訳案内士制度とランドオペレーター登録制度について

◎**概要** 地方誘客促進のための受入環境の充実と旅行の更なる安全確保を目指すための措置について説明します

◎**詳細** 講師：観光庁観光地域振興部観光資源課 蔵持京治課長／会場：Bステージ 東3ホール／時間：10：30～12：30／収容人数：150人

◎**タイトル** 日本版DMOセミナー 日本版DMOの機能と課題 ～山陰インバウンド機構の現場から～

◎**概要** 全国で設立が進められている日本

版DMOの機能と課題について解説します

◎**詳細** 講師：山陰インバウンド機構 福井善朗代表理事／会場：セミナールーム2 東5ホール1階 主催者事務室／時間：14：30～16：00／収容人数：51人

◎**タイトル** JATAインバウンドシンポジウム 文化庁、環境省の挑戦！～COOLな日本の宝 日本遺産、国立公園で観光先進国を目指す～

◎**概要** 松本大学の佐藤名誉教授をモデレーターに迎え、シンポジウム形式で「日本遺産、国立公園」の取り組み等を紹介

◎**詳細** モデレーター：松本大学 佐藤博康名誉教授 パネラー：環境省国立公園推進室 谷垣智子室長補佐、文化庁担当者、パナラットキヤット氏(プログラーレポーター)ライター：タイ語教師、JTB GMT 西日本営業部 グレーベ・トーベン氏／会場：Japanステージ 東4ホール／時間：10：30～12：30／収容人数：150人

## 海外旅行担当者向け

◎**タイトル** 親日家パラグアイ～豊かな自然と文化、訪れると幸せになれる国の魅力を発見！～

◎**概要** 近年ブームの日本人移住地、大自然、パラグアイグルメ、文化などを紹介

◎**詳細** 講師：マルセラバシガルポパラグ

アイ観光大臣／会場：セミナールーム2 東4ホール2階 商談室(3)／時間：10：00～11：00／収容人数：42人

◎**タイトル** 海外教育旅行・留学マーケットにおける安全対策セミナー

◎**概要** 修学旅行・語学研修・留学ツアー等において取り組むべき海外安全対策の重要ポイントを紹介

◎**詳細** 講師：外務省領事局海外邦人安全課 伯耆田修邦人援護官、JATA海外旅行推進部 村井秀彰副部長／会場：セミナールーム11 東3ホール1階 主催者事務室／時間：10：30～11：30／収容人数：51人

◎**タイトル** ロシア・アステイネーションセミナー

◎**概要** 来年はサッカーワールドカップや「ロシアにおける日本年」で盛り上がるロシアの隠れた魅力を紹介

◎**詳細** 講師：ロシア旅行・サブライヤー関係者／会場：セミナールーム11 東3ホール1階 主催者事務室／時間：14：00～15：30／収容人数：51人

## お客様対応者向け

◎**タイトル** 苦情対応入門 ～クレームは怖くない～

◎**概要** 旅行トラブルのワースト5(取消

## 他にも見逃せないセミナーが続々

<p><b>〈Aステージ〉</b> 15:00～16:30 ◎旅の安心・安全を支える「現場力」を考える</p>	<p>輝き続けるために～キラキラ女子のサクセスストーリー～ 16:30～18:00 ◎フランスの美しい村々と地方の魅力</p>
<p><b>〈Bステージ〉</b> 12:30～14:00 ◎海外卒業旅行企画コンテスト2017～地方空港出発“学生と旅行会社でつくる”海外企画旅行～ 14:30～15:30 ◎観光立国の鍵を握る地方都市～戦略的2WAYツーリズムのシナリオとは?～</p>	<p><b>〈セミナールーム7〉</b> 09:30～10:30 ◎海外教育旅行セミナー 14:30～16:00 ◎ブータンの魅力再発見</p>
<p><b>〈Japanステージ〉</b> 13:00～14:00 ◎インバウンドに向けたデジタルマーケティング3.1(仮) ①地域が稼ぐためのデジタルマーケティングについて ②「せとうちにおけるデジタルを活用したインバウンド戦略」</p>	<p><b>〈セミナールーム9〉</b> 09:30～10:30 ◎海外インセンティブセミナー</p>
<p><b>〈セミナールーム2〉</b> 11:30～13:30 ◎Meet Clolors! 台湾～カラフルな台湾を探しに行こう!最新情報 14:00～15:30 ◎イラン観光セミナー 16:00～17:30 ◎中央アジアの魅力</p>	<p><b>〈セミナールーム10〉</b> 15:00～15:50 ◎国内観光動向のデータを科学的に読み解く～観光地域づくりに必要な基礎データ×位置情報ビッグデータ(KDDI・コロプラ)×宿泊ビッグデータ(観光予報プラットフォーム)～</p>
<p><b>〈セミナールーム3〉</b> 13:30～14:30 ◎岩手県／復興、そして新しい三陸を目指して～みちのく潮風トレイルや再開した龍泉洞への誘い～ 15:00～16:00 ◎秋田県／爽快 世界遺産白神山地、五能線癒しの旅へ 16:30～18:00 ◎農林水産省／新しい旅のスタイル＝「農泊」で新たな需要を開拓!</p>	<p><b>〈セミナールーム11〉</b> 12:00～13:30 ◎旅の力で若者を動かす!～さとり世代のハートに火をつけるには?～ 16:00～17:30 ◎キューバセミナー</p>
<p><b>〈セミナールーム4〉</b> 14:30～16:00 ◎関東支部 LADY JATA／旅行業界で</p>	<p><b>〈セミナールーム12〉</b> 12:40～14:10 ◎環境省／世界の宝 日本の国立公園を再発見!～あなたは、その物語を知っていますか?～ 16:30～18:00 ◎文化庁／歴史・文化が織りなすストーリー「日本遺産」～観光商品化の可能性～</p>
	<p><b>〈セミナールーム13〉</b> 10:00～12:00 ◎黒海沿岸地域の魅力 14:00～15:30 ◎日本の「隅隅」へ、さらにその先へ…。ポーターツーリズムの魅力。</p>

**セミナーへの参加登録は「ツーリズムEXPOジャパン」公式サイトで**

ツーリズム・プロフェッショナル・セミナーへの参加登録は、「ツーリズムEXPOジャパン2017」への事前来場登録を完了した後に、ご希望のセミナーを選択して行っていただくこととなります。

◎タイトルⅡ元国税査察官が語る税務調査への対応

### 経理担当者向け

料、手配内容、申込み／契約、パスポート／ビザ、情報提供)の対処法を伝授します\*  
テキスト代1000円が必要になります\*  
◎詳細Ⅱ講師：JATA消費相談室 江本俊郎 副部長／会場：セミナールーム5 東5ホール2階 商談室(3)／時間：10:00～11:00／収容人数：42人

◎タイトルⅡ広報会議元編集長が語る「ツーリズム産業」広報はどうすればいい!?

### 広報担当者向け

◎概要Ⅱ税務署と税務調査の実態を理解して税務調査への不安を払拭します  
◎詳細Ⅱ喜屋武博 税理士(元国税庁国税局査察部)／会場：セミナールーム5 東5ホール2階 商談室(3)／時間：16:00～17:30／収容人数：42人

◎タイトルⅡ旅行業界における女性の活躍推進「女性の心に響く施策」とスベる施策」

### 人材・総務担当者向け

◎概要Ⅱ元辣腕編集長が、ツーリズム関連産業の広報担当者向けに初めてお話しします  
◎詳細Ⅱ講師：月刊「広報会議」編集主幹(元編集長)・上条慎氏／会場：セミナールーム6 東5ホール2階 商談室(4)／時間：16:00～17:30／収容人数：42人

◎概要Ⅱ旅行業界全体における女性の活躍を推進するための方策を基調講演も踏まえパネルディスカッション方式により検証していきます

◎詳細Ⅱ基調講演「社会における女性活躍推進の現状、建前と本音について」講師：学校法人 国際文化アカデミー (JTBトラベル&ホテルカレッジ) 坂本友理 理事・教務部長／モデレーター：東武トップアーツ人事総務部能力開発室長・山科ほとり氏 パネラー：ANAセールス 総務人事部総務人事課 矢羽田雅和 マネージャー、ジェイティービー 人事部 山内 浩世 人財育成担当 マネージャー、ジャルパック 人事総務部 鈴木健司 人事総務グループ長、名鉄観光サービス 総務部 吉田雅子 課長／会場：セミナールーム6 東5ホール2階 商談室(4)／時間：13:00～15:00／収容人数：28人

# テーマ別シンポジウム(海外・国内・訪日)

## 外部団体との連携でイノベーション・セミナーも

「ツーリズムEXPOジャパン(TEJ)2017」では9月22日、東京ビッグサイトの会議棟で、海外・国内・訪日旅行のテーマ別シンポジウムと外部団体との連携によるツーリズム・イノベーション・セミナーが開催されます。

### テーマ別シンポジウム

#### ■海外旅行シンポジウム

ホームページや直販による販売競争が激化する中で、消費者が海外旅行に何を求めているかを的確に把握することが、海外旅行需要の増加にとって不可欠です。シンポジウムでは、日本を良く知るデステイネーション側の外国人による視点、商品



昨年のテーマ別シンポジウムの様子

を造成する側のホールセラーとツアーオペレーターの視点の双方から現状を分析し、新たな顧客ニーズの掘り起こしと市場の拡大を目指します。

◎基調講演「観光局から見た日本の海外旅行マーケット」(メキシコ観光局ギジェルモ・エギアルテ駐日代表)

◎パネルディスカッション「日本市場全体の潜在力と地方市場における需要創造の検証」(多様化する海外旅行市場で顧客は新たに何を求めているか)

◎モデレーター・生田亨氏(JTBワールドバケーションズ代表取締役社長)

◎パネリスト・松本佳晴氏(ワールド航空サービス代表取締役社長)／ビクトー・ロペス氏(クオニージャパン代表取締役社長)／ギジェルモ・エギアルテ氏

◎日時・9月22日(金)15:30～17:00

◎場所・東京ビッグサイト会議棟6階605/606会議室

#### ■国内観光シンポジウム

アートにより地域魅力を創造した事例などが紹介された後、日本版DMOをどのように形成していくべきかについて、観光資源・情報発信

人材財源などの観点からパネルディスカッション形式で議論を行います。

◎基調講演「アートによる地域観光振興に向けて」(アートフロントギャラリ・北川フラム代表取締役会長)

◎パネルディスカッション「世界から人が集まるための地域マネジメントとマーケティングを考える」

◎モデレーター・山田雄氏(公益財団法人日本交通公社観光政策研究部次長)

◎パネリスト・大西雅之氏(阿寒観光協会まちづくり推進機構理事長)／多田稔子氏(田辺市熊野ツーリズムビューロー会長)／浅井忠美氏(日本政策投資銀行地域企画部部長)／サラ・マシユ氏(トリップアドバイザーアジア地区デステイネーションマネジメント部長)

◎日時・9月22日(金)10:00～12:00

◎場所・東京ビッグサイト会議棟6階605/606会議室

#### ■訪日旅行シンポジウム

訪日旅行シンポジウムでは「欧米豪市場からの誘客強化に向けて」をテーマに、欧米豪市場からの訪日外

国人を増やすために何が求められているかを、外国人の視点からの提言やすでに欧米豪市場からの旅行者誘致に成功している自治体と民間の事業者の取り組みを紹介し、地域にもたらす意義や効果への理解を深めます。

◎モデレーター・蜷川彰氏(日本政府観光局「JNTO」グローバルマーケティング部長)

◎パネリスト・クリスチャン・マンテイ氏(フランス観光開発機構ジェネラルマネージャー)／丸山永二氏(高山市役所海外戦略部長)／丸山俊郎氏(信州白馬八方温泉しろうま荘支配人)

◎日時・9月22日(金)13:00～14:30

◎場所・東京ビッグサイト会議棟6階605/606会議室

#### ■ツーリズムイノベーションセミナー

「サステイナブル」「ユニバーサル」「ラグジュアリー」「ネットワーキング」をキーワードに、セミナーやシンポジウム、フォーラムが開催されます。

#### 〈持続可能な地域観光開発セミナー〉

◎主催・日本環境教育フォーラム(JEEF)

◎テーマ・「持続可能な地域観光開発セミナー」サステイナブルな地域観光プロモーション成功の秘訣

◎日時・9月22日(金)9:30～12:30

◎場所・東京ビッグサイト会議棟7階703会議室

#### 〈ユニバーサルツーリズムシンポジウム〉

◎主催・JATA障害者差別解消法特別委員会

◎テーマ・心のバリアフリーを促進しよう

◎日時・9月22日(金)13:30～15:00

◎場所・東京ビッグサイト会議棟7階703会議室

#### 〈ラグジュアリートラベルセミナー〉

◎主催・ニューヨークタイムズ

◎内容・日本とアジアの魅力を分析し、世界各国の富裕層をいかに取り込むかを議論

◎日時・9月22日(金)16:00～17:30

◎場所・東京ビッグサイト会議棟7階703会議室

#### 〈地域活性化ネットワーキングフォーラム〉

「どこ」でも観光需要はある

◎主催・2020年オリンピックパラリンピックを活用した地域活性化推進首長連合

◎内容・2020年東京オリンピック・パラリンピック開催をチャンスと捉え、地域の活性化に向けた具体的な取組を共有する場として実施

◎日時・9月23日(土)13:00～15:00

◎場所・東京ビッグサイト会議棟6階605/606会議室

## 第3回ジャパン・ツーリズム・アワード

### 南三陸ホテル観洋が大賞を受賞

JATAと公益社団法人日本観光振興協会、日本政府観光局(JNTO)は、「ツーリズムEXPOジャパン2017」の開催に先立って、「第3回ジャパン・ツーリズム・アワード」(審査委員長 本保芳明 首都大学東京東京工業大学特任教授)の各賞受賞者を発表しました。

大賞は、株式会社阿部長商店南三陸ホテル観洋の「震災を風化させないための語り部バス」による地域交流活性化の取り組みが受賞。

「2011年の東日本大震災直後から宿泊施設を被災者に提供するなど地域に寄り添い復興への道を開いた」ことに加え、「震災体験を伝えることで防災への意識向上を図っており、震災を風化させないためのたゆまぬ取り組み」が高く評価されています。

大賞を受賞した南三陸ホテル観洋は、「大変に光栄で、私たちの思いを今後



震災体験を伝える語り部活動が縁と絆を結んでいます

ていくための大きな励みになり、心から感謝申し上げます。震災体験を伝える語り部活動は、国や世代を超えて地域の歴史や文化を未来に伝え、多くの方が現地を訪れる契機として、地域の交流人口拡大や縁と絆を結んでいます」とコメント。「大賞受賞の栄誉を胸に二層地域の発展に努めてまいります」と将来にわたる活動の継続へ決意を示しています。

ジャパン・ツーリズム・アワードは、ツーリズム業界の発展・拡大に貢献し、「ツーリズムEXPOジャパン」とのシナジー効果に寄与する取り組み、または、国内・海外の団体・組織・企業の持続可能で優れた取り組みを表彰するものです。

「第3回ジャパン・ツーリズム・アワード」各賞の表彰式は9月21日、「ツーリズムEXPOジャパン2017」会場場で実施されます。

#### 受賞企業・団体

##### ◎大賞

株式会社阿部長商店 南三陸ホテル観洋(宮城県) Ⅱ「震災を風化させないための語り部バス」による地域交流活性化の取り組み

##### ◎領域優秀賞

- ◎国内・訪日領域
  - ◎審査委員会特別賞
    - 青森県岩手県宮城県秋田県山形県福島県の東北6県並びに一般社団法人東北観光推進機構
  - ◎ビジネス部門
    - ◎部門賞・株式会社ミキツリス
      - ト/東京グレートツアーズ/佐賀嬉野バリアフリーツアーセンター/株式会社諏訪田製作所/有限会社森の国/富士山登山学校(こうりき/有限会社ワックジャパン/おんたけアドベンチャー/京王電鉄株式会社/ハウステノボス株式会社変なホテル事業開発室/くまの体験企画/ピッキオワイルドライフレジャーセンター/ゆつくりずむ北海道/株式会社JTBメディアリテリノグ/クラブツーリズム株式会社/江ノ島電鉄株式会社/東日本旅客鉄道株式会社/SATOYAMA EXPERIENCE/東日本旅客鉄道株式会社
      - ◎奨励賞・エンジンハードウェア株式会社/株式会社帝国ホテル

- ◎努力賞・日本航空株式会社(地域部門)
- ◎部門賞・特定非営利活動法人信越トレイルクラブ/福島県/公益社団法人びわ湖大津観光協会/特定非営利活動法人おきみまるごとツーリズム協会/スタービレッジ阿智誘客促進協議会/一般社団法人うるま市観光物産協会/一般社団法人草津温泉観光協会/株式会社よしもとラフ&ピース/一般社団法人秩父地域おもてなし観光公社/一般社団法人アレギー対応沖縄サポートデスク/一般社団法人ONSENガストロノミーツーリズム推進機構/すみだ地域ブランド推進協議会/おたのオープンファクトリー実行委員会/小松市役所/倉吉まち魅力開発プロジェクト実行委員会/NPO法人英田上山棚田団/NPO法人炭鉱の記憶推進事業団/一般社団法人南丹市美山観光まちづくり協会/一般財団法人沖縄観光コンベンションビューロー
- ◎奨励賞・御坊日高博覧会実行委員会/杉原千畝ルート推進協議会/地域観光プロデュースセンター(メディア部門)
- ◎部門賞・九州朝日放送/広島フィルム・コミッション/株式会社JTBグローバルマーケティング&トラベル/日本放送協会/LIVE JAPAN事務局/株式会社テレビ東京コミュニケーションズ/株式会社イントウ

- ◎領域優秀賞
  - 株式会社JTBワールドバケーションズ/ハワイにおける顧客利便性の圧倒的拡大を目的とした「O.L.I.O.L.I」ブランドの確立とマーケティングに正対した独自のインフラサービスの継続的開発
  - ◎審査委員会特別賞・日本放送協会
  - ◎ビジネス部門
    - ◎部門賞・株式会社アサヒトラベル
      - インターナショナル/株式会社エイチ・アイ・エス/ユニバーサルツーリズムデスク/関西エアポート株式会社/株式会社ジェイティービー/プリンセスクルーズ/ジャパノフィス&株式会社カーニバルジャパン/フランス観光開発機構
      - ◎奨励賞・株式会社ナビタイムジャパン
      - ◎努力賞・株式会社JTB首都圏ロイヤルロード銀座ロイヤルロードデスク
- ◎海外領域
  - ◎部門賞・エストニア政府観光局/ラトビア投資開発公社/リトアニア政府観光局/ケニア共和国大使館&ケニア政府観光局/MEXICOTOURISM BOARD
  - ◎奨励賞・Kaunas IN (リトアニア)
  - ◎UNWTO部門賞
    - 全国産業観光推進協議会/地域産業を観光素材として交流人口拡大/持続的な取り組み

## オセアニア・大洋州チーム 飯島伸二部会長に聞く 同じ時期に同じ場所を集中的に

アウトバウンド促進協議会のオセアニア・大洋州部会では、対象エリアを2つに分けると同時に、活動も短期と長期の視点から整理して、来年度上期に向けた活動がすでにスタートしています。部長を務める株式会社ジャルパックの飯島伸二執行役員（海外企画商品事業本部長）に、活動の考え方や方向性について語っていただきました。

### ポテンシャルは十分なオーストラリア

—— オセアニア市場の現状について、どのように認識されていますか。

飯島 対象範囲が広いので、オーストラリア・ニュージーランドのオセアニア部会と南太平洋全域の大洋州部会の2つに分けて活動を行うことにしていますが、



株式会社ジャルパック 飯島伸二執行役員

最初に取り組んでいるオーストラリアについて言えば、まだまだポテンシャルが十分にあると考えています。1980年代にはハネムーンを中心に多くの日本人旅行者がオーストラリアを訪れていた時期がありました。その後も、2001年の米国同時多発テロ事件で代替アステイネーションとして一気に旅行者が増えたり、昨年もテロ事件が頻発している欧州からの振り替えて需要が底上げされるという状況になったりしています。しかし、観光資源や観光素材が豊富であるにも関わらず、そうした魅力を十分に掘り起こせていないのが実情です。定番商品だけにとどまらず、デスティネーションとして深掘りしていく必要があると考えています。

—— 需要拡大に向けては、どのような取り組みを計画されていますか。

飯島 短期的な活動と長期的な取り組みとに分ける形で、活動していく方針です。2018年上期にやるべきこととしては、旅行会社がオーストラリアをどうフォーカスすべきか見極めて、日本人旅行者数の最大化を図ることを目指します。需要を拡大するには、人数を伸ばすと同時に、滞在日数を延ばすという考え

方もあるわけです。具体的には、滞在日数を延ばすために、周遊型商品を強化することを考えています。シドニーやメルボルン、ゴールドコーストなど人気の高い都市だけに滞在するモノ型商品よりも、シドニーとゴールドコーストとか、ゴールドコーストとエアーズロックとか、2〜3都市を回ったり、都市と周辺観光を組み合わせた、付加価値の高い周遊型商品をもっと市場に投入していくという方向性です。

### 実効性伴うセミナーやファムツアー

—— 旅行会社によるフォーカスは、どのようになるのでしょうか。

飯島 オーストラリア商品は現在、シドニー、メルボルン、ゴールドコースト、ケアンズを軸にしていますが、これらの主要都市に比べると、取り扱ってはいないもの、また十分に掘り起こされていないダイウインやパース、ホバートなどの都市から対象を絞り込んで足並みを揃えていきたいと考えています。オセアニア部会に参画している旅行会社にアンケートを実施し、主要都市での設定コースをどのくらい増やすのか、新たに注力する方面などについて、取りまとめているところです。実際の商品企画やパンフレットでの表現などは各社の裁量に任せますが、業界全体として同じ時期に同じ場所を集中的に取り上げるようにすれば、バラバラで取り組むよりも店舗などでの露出効

果は大きくなるはずですよ。

—— 8月24日には「南太平洋」の新しい観光素材」をテーマにセミナーも開催されました。

飯島 アウトバウンド促進協議会による「プランナーのためのトレンドを作る新しい視点」として、展開されるシリーズ・セミナーの第二弾となりました。大洋州は、デスティネーションの浸透と開発がテーマとなりますが、このセミナーではサブライヤーを含め60名強が集い、企画力向上とネットワーク構築に大きく繋がりました。こうした取り組みを着実に積み上げていくことも重要と考えています。また、9月末から10月初めにかけて、2018年度における重要都市となるパースの商品化促進と西オーストラリア州の観光コンテンツ視察を通じた周遊プランの拡大を図るため、ファムツアーも実施する予定です。セミナーにしてもファムツアーにしても、企画担当者や造成担当者が対応可能な時期を慎重に見極めて、実効性の伴うものにしていかなければなりません。航空会社や政府観光局などにも、セミナーや研修ツアーの内容などについてヒアリングしながら、海外旅行に出かける顧客との接点である旅行会社の機能を十二分に活用してもらうようにするためにも、アウトバウンド促進協議会は極めて大切な場になっていくと考えています。

四国最大級「えひめ旅フェスタ」に  
7800人

中四国支部愛媛地区委員会

松山空港利用促進協議会とJATA  
中四国支部愛媛地区委員会は6月23  
日から25日までの3日間にわたり、愛  
媛県松前町のショッピングモール「エミフ  
ルMASAKI」で「えひめ旅フェスタ」  
2017を開催しました。

四国最大級の旅の情報発信イベントと  
して定着した「えひめ空旅」。今年から  
名称も「えひめ旅フェスタ」に改称して、  
4回目の開催を迎えます。

今年には陸(鉄道)・海(船舶)・空(航空  
機)全般を対象とすると同時に、海外旅  
行・国内旅行・訪日旅行や着地型観光な  
ど総合的な旅行・観光イベントへ拡充さ  
れました。

6月23日のワークショップ(商談会)と  
意見交換に続き、24日と25日は「エミフル



ステージに勢ぞろいした出展関係者

MASAKIで旅を楽しむ感じる2日  
間!」をキーワードに、さらに充実した  
旅の情報発信イベントへとグレードアップ  
した「えひめ旅フェスタ」2017には  
約7800人が来場しています。  
出展ブースでは、政府観光局や航空会  
社、クルーズ会社、鉄道、観光協会など  
が、観光地や就航先などをアピールした  
ほか、ステージでは、出展各社によるプレ  
ゼンテーションや景品提供などが行われ  
ました。

九州支部がボランティア活動

「北部豪雨災害」の被災地で作業

JATA九州支部は7月29日、福岡  
県朝倉市の杷木東林田地区で北部豪雨  
災害ボランティア活動を行いました。

九州北部地方では7月5日から6  
日にかけて、総降水量が多いところで  
500ミリを超えるなど、福岡県朝倉  
市や大分県日田市などで24時間降水量  
が観測史上1位の値を更新する記録的  
な大雨となり、同地方に甚大な被害を  
もたらしています。

77人が参加した今回のボランティア活  
動では、被災された個人の住宅の泥出し  
作業を行いました。

参加者からは、

「被害箇所を實際  
に自分の目で見て、  
災害の凄まじさに  
圧倒された」「甚大  
な被害の全体は人  
力が及ぶところで  
はないが、人力でし



猛暑の中で行われた泥出し作業

かできない細かい部分もあり、一所懸命  
に作業した「今回は1回の活動だった  
が、引き続きボランティア活動に参加し  
てくださる方へタスキをつなぐことも重  
要だと思った」といった声が寄せられて  
います。

関西支部、「海の日」を考える催し実施  
会員社員ら200人以上が参加

JATA関西支部は管内の会員会社社  
員を対象に「海の日」について考える催しと  
して、JATA「海フェスタ神戸・シーサイド  
ツアー」を7月29日に実施しました。

ツアーでは、大阪、大津、京都、奈良、  
和歌山、神戸からバス7台が運行され、  
会員会社の社員と家族、友人など総勢  
223人が参加。海フェスタ神戸(海の  
総合展)、メリケンパーク、神戸港震災メ  
モリアルパーク、メリケン食堂別館、神戸  
市立須磨海浜水族園などを訪問してい  
ます。

北海道支部

- 8月21日 役員会(幹事会)。
- 8月22日 海外旅行地域セミナー in  
釧路(釧路地区)。
- 8月23日 海外旅行地域セミナー in  
帯広(帯広地区)。
- 8月24日 海外旅行地域セミナー in  
札幌(札幌地区)。
- 8月25日~27日 北海道海外旅行フェア  
2017 in アカプラ。
- 8月26日 海外教養講座「海外旅行フェ  
ア2017同時開催イベント」。
- 8月31日 訪日旅行委員会。
- 9月5日 公正競争規約説明会。

9月7日 国内旅行委員会。

東北支部

- 8月24日 幹事会。
- 8月24日 定例会。

中部支部

- 8月2日 海外旅行委員会。
- 8月3日 国内旅行地域振興委員会。
- 8月22日 研修委員会。
- 8月24日 支部幹事会。
- 8月24日 八相会。

関西支部

- 8月3日 海外旅行委員会、国内旅行  
委員会、インバウンド・ツーリズム委員会合  
同会。
- 8月10日 津木ゼミ旅行実務講座②。
- 9月6日~7日 幹事会。
- 9月7日 津木ゼミ旅行実務講座③。

中四国支部

- 8月3日 ヨーロッパセミナー in  
JATA。

九州支部

- 8月1日 福岡海外教育旅行セミナー。
- 8月2日 北欧セミナー in 大分。
- 8月5日 熊本県地区九州北部豪雨災  
害ボランティア活動。
- 8月19日 北九州地区九州北部豪雨災  
害ボランティア活動。
- 8月23日 国際旅行委員会。
- 8月24日 海外旅行委員会。
- 8月29日 消費者相談委員会。
- 9月5日 教育研修委員会。

沖縄支部

- 8月16日 幹事会。
- 9月9日 環境保全活動。



# オープンデータとJTBレポートから 2016年の旅行者の動きをみる

6月末に法務省から出入国管理統計の2016年通年の各種データが発表されました。また翌月にはJTBから「JTB REPORT 2017日本人海外旅行のすべて(以下、JTBレポート)」が発行され、ようやく、2016年の日本人の海外旅行のファクトが明らかになってきました。

## 出国率大幅アップの20代女性と膠着状態のシニア層

4年ぶりに増加した2016年の海外旅行者の内訳を性年齢別で見ると、出国率は20代女性が28.5%と最も高く、前年比は+3.7ポイントと上昇幅も最も大きい結果となりました。ちょうど春休みの頃から為替が円高へと動いたことや、大学卒業者の就職率が1996年以降最高値になり※、多くの学生が2月、3月に海外に出かけたこと、また4月や9月の連休に出国者数が大きく伸びていたことから、休暇がとりやすい日並びだったことも20代女性を海外旅行に駆り立てる因となったようです。その一方で60歳以上の男女の出国率は前年とほぼ変わらず、シニア層の動きが鈍い結果となりました。シニア層は国際情勢や感染症といったリスクに最も敏感に反応し、その回復は他世代に比べ慎重で遅い傾向にあるようです。昨年日本

人海外旅行者数が復調した中、主要旅行者の旅行商品ブランドが苦戦したのは、パッケージツアーの比率の高い主要顧客のシニア層が動かなかったことが影響したと考えられます。が、果たしてそれだけでしょうか。

## 差が広がる個人手配旅行とパッケージ旅行のシニア

さて今年のJTBレポートによると、2016年の海外旅行全体ではパッケージツアーは36.6%、個人手配旅行は58.5%と前年より差が開きました。両者のシニアが入れ替わったのは2012年からで、出国者が過去最高の1850万人を記録した年でした。これを観光旅行に特化してみると、2016年はパッケージツアーが45.3%、個人手配旅行は51.3%で、個人手配旅行の割合が初めてパッケージツアーを上回ったのは2014年でした。

## パッケージツアーは旅行者にリーチしているか

私が所属する部署では、以前からある仮説を持つようになりました。それはインターネットによる海外旅行商品の購入が増える中、パッケージツアーはネット上では消費者が内容や価値にリーチしにくくなっているのではないかとことです。理由の一つに、「旅行比較サイト」

の普及があります。当社の「LCC利用者意識と行動調査2017」で、アンケート対象者に海外旅行の商品選びの際にどのような手段で探すかを聞いたところ、複数回答では上位5つのうち3つに旅行比較サイトがはいっていたことから推察できます。大手旅行(航空券)比較サイトの「スカイスキヤナー」は2011年に日本語での営業を開始し、「カヤック」は

のまま入力可能な自社の航空券検索画面を上位に表示するようになり、今後の動きは見逃せません。カスタマージャーニーは生き物ととらえ常に可視化し、情報接点のみならずパッケージツアーの本質を全く新しい視点で問うことが重要になるでしょう。

※出典：厚生労働省「大学等卒業者の就職状況調査」2016年3月末現在

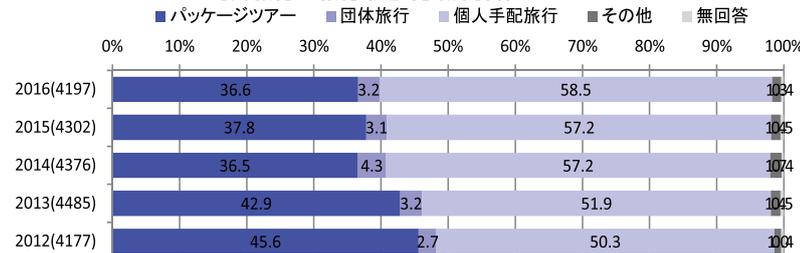
波瀾郁代 (JTB総合研究所執行役員企画調査部長)  
88年入社。支店長、広報室長を経て12年JTB総合研究所へ。同社の自主研究、マーケティング、コミュニケーション戦略を担当。JTB旅行動向の分析推計に8年から現在まで関わる。

性・年齢層別出国率推移

		単位:%								
		0~9歳	10~19歳	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70歳~	計
総数	2014	5.5	7.5	20.9	19.8	19.0	18.8	12.6	3.6	13.3
総数	2015	5.5	7.4	19.8	19.3	18.2	18.5	11.8	3.3	12.8
総数	2016	6.0	8.3	22.5	20.1	18.9	19.4	12.0	3.4	13.5
男性	2014	5.4	6.4	15.6	22.1	25.0	24.5	15.0	4.8	15.4
男性	2015	5.4	6.4	15.1	21.7	24.0	24.5	14.4	4.5	15.0
男性	2016	5.9	7.0	16.7	22.4	24.6	25.2	14.5	4.6	15.6
女性	2014	5.5	8.5	26.5	17.5	12.8	13.2	10.4	2.8	11.3
女性	2015	5.6	8.5	24.8	16.7	12.2	12.6	9.4	2.5	10.6
女性	2016	6.1	9.6	28.5	17.7	13.2	13.6	9.6	2.5	11.5

資料:法務省「出入国管理統計」 総務庁統計局「10月1日現在推計人口」

JTBレポート2017:海外旅行の旅行形態(手配内容)



資料:JTB総合研究所 海外旅行実態調査



# ワクチン接種で感染症疾患への予防を

海外旅行では、感染症罹患のリスクを回避、軽減するために、旅行先や旅行形態に応じて必要なワクチンを接種し、予防に努めることが重要です。日本旅行医学会の専務理事を務める千駄ヶ谷インターナショナルクリニックの篠塚規院長にお話を伺いました。

## ●ワクチン接種の心得

海外旅行に出かける場合、国内で生活している時に比べて、感染症罹患のリスクが高まることに留意しなければなりません。特に、発展途上国では、A型肝炎や腸チフスから狂犬病にいたるまで、日本ではすでに克服された病気が猛威をふるっているケースも少なくありません。また、熱帯病など地域に特有の疾患も存在しており、日本人には抵抗力が備わっていない病気にも十分な注意が必要となります。途上国などで流行している感染症の中には、ワクチンにより予防できる病気が沢山ありますから、医療設備や文化が異なる上に言葉も通じにくい外国で病気に罹って大変な苦労をするよりも、日本を出発する前にワクチン接種を受けるなど、感染症罹患の予防を心がけたいものです。

## ●ワクチン接種への意識が低い日本

日本では主な感染症による病気のほとんどが克服され、国内での衛生環境も良好なため、外国で感染症に罹患することなど想像できない人が

多いようですが、「外国でも大丈夫だろう」という根拠のない安易な考え方は禁物です。日本のガイドブックでは、欧米などのガイドブックに比べて、外国へ出かける前にワクチン接種を受けることの重要性への記述が十分ではありません。例えば、ネパールのガイドブックで確認してみると、日本の場合、気を付けたい感染症の種類は書かれてはいるものの、「予防接種は義務付けられていないが、どうしても予防接種をして行きたいというのであれば、各地の検疫所に問い合わせ」という記述にとどまっています。

一方、『ロンリープラネット』では、ワクチン接種が公的に義務付けられていないことを指摘した上で、10種類以上の感染症による病気が詳細に説明され、ワクチン接種が推奨されています。日本と欧米におけるワクチン接種に対する考え方の違いが、一般人向けのガイドブックの説明にも現れているようです。

## ●ワクチン接種のための情報収集

海外旅行で実際に訪問する国・地域によつて、罹患の可能性がある病気にも特徴があります。特に、感染症の流行状況は時々刻々と変化するため、常に最新の情報を入手するよう心がけなければなりません。また、旅行の目的や形態によつても、感染症罹患のリスクは異なります。大都市での国際会議に出席するのと、デイバックを背負って地方を回る場合

とでは、罹患可能性のある疾患は変わってきます。インターネットを積極的に活用して、信頼できる医療関係の専門サイトで必要な情報を入手したり、旅行先での行動でリスクを減らす工夫をするようにしたいものです。最も信頼性の高い医療情報のホームページとしては、米国内外を問わず、健康と安全を担う米国連邦政府の機関であるアメリカ疾病管理予防センター(CDC)の運営するサイト([www.cdc.gov](http://www.cdc.gov))があります。

## ●早めに準備したいワクチン接種の計画

特定の病気に対する1種類の予防接種でも、免疫を付けるために複数回の接種が必要となるワクチンは少なくありません。一般的な日本人には接種歴がないA型肝炎やB型肝炎、狂犬病などの場合、不活化ワクチンのほとんどが複数回の接種が求められます。また、原則として複数回の接種が必要なワクチンでも、1回だけの接種で予防効果を得られる接種の仕方が用意されている場合もありますから、ワクチンの接種を受ける病院で医師と相談しても良いでしょう。海外旅行へ出かける前には、特に、旅行先が途上国の場合、なるべく早い時期に予防接種機関や検疫所で接種するワクチンの種類とスケジュールについて相談してみてください。出発直前になればなるほど、慌しさも増してきますから、余裕を持って早めにワクチン接種の準備を始めるようにしましょう。

挑戦の数だけ、  
保険がある。

To Be a Good Company

東京海上日動



苦情事例に学ぶ ⑤⑥ 監修 弁護士 三浦雅生

## 今回のテーマ…キャンセルの連絡をしたのに…

この夏は皆さまや皆さまの会社にとってどんな夏でしたか。たくさんのお客様が、楽しい思い出をお土産に旅行から帰ってこられたことと思います。

ところが私たち消費者相談室は、旅行されるお客様の数に比例するように苦情の電話、特に取消料に関する相談が増えてきます。今回はそんな相談のひとつを紹介いたします。

### 申し出内容はこうです

海外旅行(募集型企画旅行)を申し込んでいきましたが、出発日3日前の朝、どうしても都合がつかなくなり、残念ながらキャンセルすることになりました。パンフレットに記載してある取消料の表を見ると、その日(3日前)にキャンセルすれば20%、翌日(前々日)のキャンセルは50%となっていました。

しかしその日は予定があり、旅行会社の営業時間中にお店に行くことも電話をすることもできませんでした。そこで旅行会社の営業開始前にキャンセルする旨のメールを送りました。

その夜携帯電話を見ると旅行会社から着信履歴が数回ありました。翌日、旅行会社に電話をすると「昨日、確認のためお電話しましたが、連絡が取れなかったため旅行はキャンセルしていません。この電話をもってキャンセルを承ります。前々日のキャンセルですので、取消料は50%です。」と言われました。

電話に出られなかったのは申し訳ないですが、取消料が20%で済む3日前にメールで連絡しているのに、前々日の取消料50%を支払う必要があるのでしょうか。

### 解決に向けての指針

私たちは日常業務において「キャンセル」、「取消」という言葉をよく使います。ところが法律用語では、いわゆる「キャンセル」、「取消」は「解除」に該当します。約款や法律の条文を読むときは、まずこのことに注意する必要があります。

さて旅行業約款(募集型企画旅行契約の部)は契約の成立時期について「募集型企画旅行契約は、当社が契約の締結を承諾し、第5条第1項の申込金を受理した時に成立するものとします。」(第8条)と明確に定めています。一方、契約の解除(旅行者の解除権)については「旅行者は、いつでも別表第二に定める取消料を当社に支払って募集型企画旅行契約を解除することができます。」(第16条)とあるだけで、その時期について具体的な記述はありません。そこで拠り所になるのが第1条後段「この約款に定めのない事項については、法令又は一般に確立された慣習によります。」という条文です。

では今回の事例において「法令又は一般に確立された慣習」とは何でしょうか。第1条でいう「法令」とは、ほとんどの場合、民法、商法、消費者契約法、電子消費者契約法の4つの法律です。

民法は解除権の行使について第540条で次のように定めています。「契約又は法律の規定により当事者の一方が解除権を有するときは、その解除は、相手方に対する意思表示によつてする。2前項の意思表示は、撤回することができる。」これは、解除という法律行為は相手方に対する一方的な意思表示によつて成立し、相手方の承諾を必要としない、その効力は意思表示が相手方に到達した時に生ずる、即契約消滅という効果が生じてしまうので撤回できないという意味です。

つまり今回の事例ではお客様の解除の意思が旅行会社に到達した時、具体的にはお客様からのメールが旅行会社のサーバーに到達し、読むことができる状態になった営業開始時刻をもって、法的に契約は解除されていると考えられます。(根拠は電子消費者契約法第4条ですが、紙幅の都合で解説は省きます)

したがって、お客様から取消料は20%しかいたいただくこと

ができません。

もちろん旅行会社がメールを見てすぐにキャンセルをせず、お客様へ電話で確認をしようとしたことはサービス業として素晴らしいことです。しかし連絡がつかなかった場合の対応は法律に拠らざるを得ません。こうしたときは会社の法務担当者に判断を仰ぐか、どうかお気軽にJATAへご相談ください。(安東)

旅行会社のためのクレーム対応マニュアル『たびクレ』が全面リニューアル

## 「新たびクレ」

クレーム対応に奮闘する現場スタッフのお助けマニュアル

### ◆CONTENTS ダイジェスト◆

- ◎「特集 旅行トラブルのワースト5を防ぐ方法!」
- ◎「Q&Aセレクト 37」でトラブル対応のポイント解説
- ◎レター作成例「詫び状」「弁明状」「反論状」
- ◎「障害者差別解消法」事例も充実
- ◎「こんな時どう答えればいいのか?」

【販売価格】正会員:1,000円 協力・賛助会員:1,300円

★JATAホームページ>「会員・旅行業のみなさまへ」>「消費者からの質問・苦情・相談」からお申込みいただけます★



## 第56回 営業保証金制度と 弁済業務保証金制度

法務・コンプライアンス室

(監修 弁護士 三浦雅生)

旅行業法では、旅行業務について旅行者と取引を行う旅行者の債権を保護するために、「営業保証金制度」と「弁済業務保証金制度」の2つの制度を規定しています。なぜ2つもあるのか。今回は、両制度の違いについて説明いたします。

### 制度の概要

営業保証金制度も弁済業務保証金制度も、旅行者と旅行業務に関し取引した旅行者が、旅行者から債務の弁済を受けることができなかった場合に、あらかじめ供託所に供託している営業保証金又は弁済業務保証金（弁済業務保証金）の額は旅行者の前年度における旅行者との取引額に応じて定められており、旅行者の債権額が営業保証金額又は弁済限度額を超える場合は、債権額に応じて按分して支払われます。

これらの制度は、いずれも取引の相手方である旅行者を保護することを目的としており、旅行者の信用を高めることにもつながっています。

なお、旅行者は、毎事業年度終了後100日以内にその事業年度の旅行者との取引額を登録行政庁へ報告し（いわゆる「100日報告」）、営業保証金の場合には主たる営業所の最寄りの供託所に追加供託や取戻し

を、弁済業務保証金の場合は旅行業協会にも取引額を報告して追加納付や取戻しをして過不足調整をします。

### 旅行者はどちらを納めるのか

旅行者は供託所に供託する営業保証金か、旅行業協会へ納付する弁済業務保証金分担金のどちらかを選択すれば良いことになっています。なお、平成8年の旅行業法改正までは旅行業協会の正会員であっても登録を受けた日から1年を経過しないと弁済業務保証金分担金を旅行業協会に納付できず、登録直後は必ず営業保証金を供託する必要がありました。

では、どうして営業保証金の旅行者と弁済業務保証金分担金の旅行者があるのでしょうか。

それは「弁済業務保証金分担金」の額にあります。「弁済業務保証金」を分担するので「分担金」の文言が加えられています。この額は営業保証金の額の5分の1となっているからです。

なぜ5分の1の額で良いのかというと、旅行業協会に加入する正会員（保証社員）が営業保証金の5分の1の金額を分担金として出し合って経営に行き詰った会員の5分の4の債務を弁済するという一種の互助組織として機能し、また5分の4はその会員から回収できないときは弁済業務保証金もたらす利息等（弁済業務保証金準備金）で最終的に穴埋めする仕組みになっているからです。

そうすると旅行者は、少ない金額で済む弁済業務保証金分担金を選ぶのではと思われがちですが、実際には営業保証金を供託して事業を行う旅行者があります。理由は様々考えられますが、弁済業務保証金分

担金は現金での納付しかできませんが、営業保証金であれば国債や地方債などの有価証券を充てることができる。また、旅行業協会の正会員とならなければ（実務上、旅行業登録申請よりも前に旅行業協会への入会申請書類が提出され、旅行業登録が完了する前に旅行業協会入会が仮承諾されています）弁済業務保証金分担金を納めることができないため、正会員となるための入会金や会費等の諸経費を負担したくない旅行者もいるからです。

### 旅行者にとっての違いは？

では、旅行者にとって両制度の違いはあるのでしょうか。例えば、営業保証金300万円又は弁済業務保証金分担金60万円（弁済限度額300万円）である旅行者が倒産して、旅行が実施できなくなったとします。被害を受けたお客様が30人、旅行代金は一律に10万円であれば債権の申出額は合計300万円となり、旅行代金全額の還付（配当）が受けられます。

弁済業務保証金制度では、弁済業務保証金の還付は旅行者から委任を受けた旅行業協会が受け取った後、旅行業協会はおお客様の指定口座へ10万円を振り込みます（なお、お客様自ら還付を受けることもできます）。一方、営業保証金制度では、10万円から、公告のための官報掲載費や郵送料などの手続に要した費用が差し引かれ、供託所へ「証明書」を持って自ら還付を受けに行く必要があります。

還付（配当）に充てられる金額という点では同じ制度と言えるかもしれませんが、弁済業務に関する事務手続きに要する手間や手数料の負担等においては違いがあることもお忘れなく。

(杉原)

# 事務局 便り

## 出入国者数(速報値)

### 7月の出国日本人数は3.2%増148万2000人

日本政府観光局(JNTO)が8月16日に発表した速報値によると、今年7月における出国日本人数は前年同月比3.2%増の148万2000人を記録しました。

また、7月に発表された速報値で、同3.8%増の132万人だった6月の出国日本人数は、同5.1%増の133万6162人に上方修正されており、1月から7月の累計では前年同期比6.0%増の990万4700人となりました。

出国日本人数の伸び率は、1月が同1.5%増にとどまった後、2月と3月が同12%台という高い水準を記録したものの、4月は同1.2%減とマイナスにとどまりました。しかし、5月以降は同6.9%増、同5.1%増、同3.2%増と3カ月連続でプラスを維持しており、JATAが目指す「海外旅行の復活」に向けて堅調な動きを示しています。

### 訪日外客数は年間3000万人への期待も

一方、今年7月における訪日外客数は前年同月比16.8%増の268万1500人となり、同18.2%だった今年6月の伸び率は下回ったものの、今年4月から4カ月連続で2ケタ台の伸びを記録しています。

また、今年7月は実数でも前年同月の229万6000人を38万人以

上増加し、単月として過去最高となりました。

さらに、7月までの累計では、前年同期比17.3%増の1643万8800人となり、年間で3000万人の達成も期待される勢いを示しています。

日本政府観光局(JNTO) 平成29年8月16日 (単位:人)

月	訪日外客数			出国日本人数		
	平成28年	平成29年	伸率(%)	平成28年	平成29年	伸率(%)
1	1,851,895	2,295,668	24.0	1,276,297	1,295,059	1.5
2	1,891,375	2,035,771	7.6	1,330,972	1,493,399	12.2
3	2,009,550	2,205,664	9.8	1,550,637	1,745,412	12.6
4	2,081,697	2,578,970	23.9	1,249,586	1,234,921	-1.2
5	1,893,574	2,294,717	21.2	1,233,170	1,317,742	6.9
6	1,985,722	*2,346,500	*18.2	1,271,146	1,336,162	5.1
7	2,296,451	*2,681,500	*16.8	1,435,758	*1,482,000	*3.2
1~7 Jan-Jul	14,010,264	*16,438,800	*17.3	9,347,566	*9,904,700	*6.0

◆注1: 出典:日本政府観光局(JNTO)

◆注2: 平成28年(2016年)は確定値、平成29年(2017年)1月~7月は暫定値、\*部分は推計値である。

◆注3: 訪日外客数及び\*印の出国日本人数は法務省資料を基にJNTOが算出し、それ以外の出国日本人数は法務省資料を転記した数値である。

◆注4: 訪日外客とは、国籍に基づく法務省集計による外国人正規入国者から、日本を主たる居住国とする永住者等の外国人を除き、これに外国人一時上陸者等を加えた入国外国人旅行者のことである。駐在員やその家族、留学生等の入国者・再入国者は訪日外客に含まれる。  
なお、上記の訪日外客数には乗員上陸数は含まれない。

## ●JATA業務予定表 9月10日(日)~10月31日(火)

※予定表は変わることがあります。

### 本部・支部の委員会(予定)

9月13日	実務委員会/九州支部
9月15日	総務委員会/関東支部
9月15日	総務委員会/関西支部
9月20日	幹事会/沖縄支部
9月20日	海外旅行委員会・国内旅行委員会・福岡地区会の合同委員会/九州支部
9月21日	消費者相談委員会/関西支部
9月22日	幹事会/中四国支部
9月22日	幹事会/関東支部
9月22日	幹事会・LADY JATA委員会/関東支部
9月22日	海外・国内・インバウンド合同委員会/関西支部
10月3日	LADY JATA委員会/関東支部
10月5日~6日	インバウンド委員会/関東支部
10月11日	幹事会/東北支部
10月13日~14日	消費者相談委員会/関西支部
10月16日~17日	国内旅行委員会(奄美大島)/関東支部
10月18日	総務委員会・消費相談委員会/中部支部
10月18日~22日	海外旅行委員会(ハワイ)/関東支部
10月19日	幹事会/中部支部
10月20日~21日	研修・試験委員会(宮城)/本部
10月26日	八相会/中部支部
10月27日	空港委員会/中部支部

## ●JATA主催・共催の研修・セミナー等活動

※JATA正・協力会員を対象とした研修・セミナーであり、すでに申し込み受付を締め切った研修・セミナーもあります。詳しくは、JATAホームページ(会員限定ページ)でご確認ください。

9月11日	三浦ゼミクレーン対応講座③(名古屋)/業務改善委員会
9月21日~24日	ツーリズムEXPOジャパン2017
9月30日	第3回寺子屋JATA開催/九州支部
10月2日	次年度採用内定者・仙台空港セミナー/東北支部
10月5日	津木ゼミ旅行実務講座④/業務改善委員会
10月8日	平成29年度総合旅行業務取扱管理者試験/研修・試験委員会
10月11日	三浦ゼミクレーン対応講座④(東京)/業務改善委員会
10月17日~20日	第6回総合・国内旅程管理者研修(東京・松山)/研修・試験委員会
10月20日~25日	海外旅行研修「カナダ・アメリカ」/中部支部
10月21日	自然環境保全活動「藤前干潟クリーン大作戦」/中部支部
10月27日~28日	JATAの道プロジェクトみちのく潮風トレイル/東北支部
10月28日	JATA環境保全活動/関西支部
10月29日	ヨーロッパ旅博/関西支部

## 外国コイン募金にご協力を 「TEJ2017」会場に募金箱設置

JATAは9月22日から24日まで、東京・有明の東京ビッグサイトで開催される「ツーリズムEXPOジャパン(TEJ)2017」の会場に、(公財)日本ユニセフ協会の外国コイン募金箱を設置します。

会員各社の社内に残っている各国・地域のコイン(紙幣も可)を集めていただいた上で、「TEJ2017」にご来場いただき、是非、募金にご協力ください。

旅行業界ならではの社会貢献活動として、会員各社のご支援をお願いいたします。

外国コイン募金の詳細につきましては、「TEJ2017」公式サイトトップページ(<http://www.t-expo.jp/>) 下段にある関連リンク「外国コインをご持参ください」をご覧ください。

# 銀の馬車道・鉱石の道 (兵庫県)

素材研究  
(国内)



総延長は350km、深さは地下880mに達した生野銀山の坑道



明延鉱山で採鉱された鉱石の選鉱場となった神子畑鉱山



生野鉱山に招かれた外国人技師の官舎が移築された旧神子畑鉱山事務所



神河町に現存する昔のままの「銀の馬車道」



国宝で世界文化遺産の姫路城は抜群の集客力を誇る地域観光の目玉です

1200年の歴史を持つ日本有数の大鉱山だった生野銀山。近代化の礎となった往時の様子を今に伝える史跡です

## 近代化の記憶をたどる2つの「道」 兵庫県の新たな観光ルートとして注目

兵庫県中央部の播但地域を南北に貫く「銀の馬車道」と明延鉱山や中瀬鉱山へと続く「鉱石の道」は今年4月、文化庁により日本遺産に認定されました。国宝で世界遺産の姫路城を擁する姫路市から養父市に至る「道」の先には、1300年の歴史を持つ名湯・城崎温泉もあり、兵庫県の新たな観光ルートとして注目が高まっています。

### 沿線の市町が協働で事業推進へ

「播但貫く、銀の馬車道 鉱石の道」資源大国日本の記憶をたどる73kmの轍」と銘打たれた日本遺産は、かつて鉱物資源大国だった日本の歴史を辿るストーリーです。

正式名称を「生野鉱山寮馬車道」という「銀の馬車道」は、生野銀山を国営化した明治政府が銀の増産を目指して必要な資材や物資を大量に速く運ぶため、49kmを切り開いた、日本初の高速産業道路です。姫路港の飾磨港区から辿る「道」には、鉱山と共生した宿場町や町家も点在し、生野

では現在も稼働する金属工場が「鉱山まち」の活気を感じさせます。生野から北西24kmに延びる「鉱石の道」には、鉱山の地中深くに掘られた坑道が残され、金銀銅を求めた鉱夫たちの執念と息遣いを伝えてくれます。

日本遺産の認定を受けて、沿線に位置す

る姫路市・福崎町・市川町・神河町・朝来市・養父市の6市町と兵庫県などは今年6月、「銀の馬車道・鉱石の道」推進協議会を設立し、協働で事業の推進に取り組んでいます。

### 目玉観光地のサブストーリーに

兵庫県中播磨県民センター・県民交流室産業観光課の山名佐知子班長（銀の馬車道担当）によると、同推進協議会では、日本遺産としてのエリアブランド発信事業として、各市町の構成遺産と観光資源を広域観光ルートとして繋いで内外にアピールするホームページや映像などを制作する一方、旅行会社向けに日本遺産の意義やストーリーの魅力、絶景スポットやモデルルート、観光施設のユニバーサル対応などの情報を盛り込んだ素材集を作成する予定です。

「日本遺産に認定されたからといって、いきなりメインの観光素材となれるわけではないと思うので、姫路城や城崎温泉への旅行商品のサブストーリーとしてツアーに組み込んでいただき、実際に足を運んで知っていただけるような展開を期待しています。関連するパンフレットの提供なども可能な範囲で行ってきたい」（山名班長）

さらに、同推進協議会では、遺構や名所などを歩くリレー形式でのウォーキングやサイクリングのイベントなども、魅力体験事業として実施する予定で、スポーツ型の体験プログラムを通じて日本遺産の魅力を訴求することも目指しています。



碧水丹山の名勝として知られる武夷山では、風に吹かれる雲も漂う絶景のもとで九曲溪の流れに筏が浮かびます



地理的条件に恵まれた福建省では古くから茶葉が栽培され、長い歴史の中で茶文化が育まれてきました

## 独特の自然・民俗から生活文化まで 注目集める福建省の多様な魅力

中国国家観光局は今年6月、日本の旅行会社を対象に福建省への研修旅行を実施しました。武夷山や土楼などユニークな自然や民俗で知られる福建省は、茶葉の産地として生活に根付いたお茶文化や中国八大料理の一つである福建料理をはじめ、客家文化や海上シルクロード文化など多様な魅力で、日本から中国を訪れる旅行需要の活性化に向けて起爆剤となることも期待されています。

### ウーロン茶のふるさと

福建省は中国における茶文化発祥の地として、古くから茶葉の栽培が行われてきており、唐代の8世紀頃に茶聖・陸羽によって書かれた



散策の合間に楽しむ名産のお茶も旅の楽しみの一つです

た世界最古の茶書「茶経」より3000年も前に茶栽培について記録された文書も残されているほどです。

18世紀にウーロン茶の製法が確立された安溪は「茶都」とも呼ばれ、最高級ブランドである「鉄観音」の産地として知られています。

丹霞地形で世界的に有名な武夷山でも最上級の茶葉と言われる武夷岩茶が栽培されており、17世紀初頭に英国王室に伝えられた武夷山紅茶は、ボストン茶会事件で東インド会社が運んできた船荷でもありました。

日本でも飲料メーカーが1980年代に世界初の缶入りウーロン茶を発売した際、ブランド茶葉の一つとして使用した鉄観音がウーロン茶の代名詞となり、その産地として福建省の知名度も一気に高まりました。

長い歴史が紡いできた福建省における茶葉栽培の伝統と多様な製茶技術は、ウーロン茶や紅茶、緑茶など、高い品質のお茶を世界中に送り出しています。



36を数える峰々の間を九曲溪が縫うように流れる武夷山は、自然景観だけでなく名高い岩茶文化も生み出しました

### 武夷山で癒し体験「九曲溪下り」

武夷岩茶を生み出した武夷山は、中国における最も典型的な丹霞の地形によつて「碧水の丹山」「東南の美しい奇界」と称され、



福建省の政治・経済・文化の中心地である福州市は、その起源を紀元前3世紀まで遡ります。唐代の8世紀に福州都督府となり、漢代から始まった海外貿易により宋・明代に最盛期を迎えました。明・清の建造物も数多く残り、新旧の混在する活気に満ちた「三坊七巷」(右)は、中国政府が「国家歴史文化名街」に選定しています。9世紀に創建された西禅寺(左)は福州五大禅宗寺院に名前を連ね、中国で最も重要な寺院の一つです



1999年には自然的な価値とともに文化的な価値も評価されて世界複合遺産に登録されました。

総面積が約1000平方キロに及び、36の峰からなる武夷山の間を縫うように全長60キロの九曲溪が流れてい



福建土楼は宋元時代に中原地区から南下してきた漢族が過酷な自然・社会環境の中で創造した住居様式です



福建省の山間部に点在する土楼は、雄大な自然景観に溶け込みながら、生活の息吹も感じさせてくれます

**土楼へのアクセスも大幅に改善**  
福建省では、地震対策や防火、外敵の襲来に備えて造られた大規模な山岳民家建築である「福建土楼」も、2008年に世界文化遺産に登録されました。

景勝エリアの名称の一つとなっている大紅袍は、武夷山の岩肌の狭い場所に生えた茶樹で、病に苦しんでいた貴人の病がその茶で癒えたため、位の高い者にしか許されない紅色の衣がこの茶樹に贈られたことにより、その名が付けられたと伝えられます。

武夷山観光の中心となる武夷山風景区には、天遊峰景区、線天景区、水簾洞景区、大紅袍景区、武夷宮景区などの景勝エリアがあり、それぞれが独特の景観を形成しています。



福建省の南東部・九龍江の河口に位置する廈門は、異国情緒も色濃く漂う歴史的な港湾都市です

中国では近年、高速鉄道や高速道路などの交通インフラの整備が急速に進められてきており、山中に点在する福建土楼へのアクセスも著しく改善されて、ツアーに組み込み易くなってきました。

1950年代〜60年代には、米国の軍事衛星によって初めて探知された福建土楼が、中国のミサイル発射基地と誤認されたこともあり、世界的に知られるようになりまし。中国では近年、高速鉄道や高速道路などの交通インフラの整備が急速に進められてきており、山中に点在する福建土楼へのアクセスも著しく改善されて、ツアーに組み込み易くなってきました。

同省の西部と南部の山中に点在する福建土楼は、独特の建築スタイルによる客家（漢民族）の民家建築です。宋元期に遡ると言われる福建土楼には、生活に必要なものが全て揃い、一つの村のようなコミュニティを形成。100世帯以上が暮らしを共にするケースもあり、数カ月間にわたって籠城できたとも言われます。その形状は、円楼、方楼をはじめ、凹字型、半円型などもあり、シンブルな幾何学模様が自然景観とのコントラストを強烈なものとしています。



ピアノの普及率が高く「ピアノの島」という異称も持つコロンス島のピアノ博物館



南京条約で開港した廈門のコロンス島には、1920年に建築された「番婆楼」など様々な洋館があります

外国の影響を受けつつ、古来からの独自文化と融合させてきたユニークなコロンス島の存在は、今後ますます注目を集めることになりそうです。

台湾海峡に臨む廈門は明代の16世紀以降、中国有数の茶葉輸出港としても繁栄してきました。南京条約で共同租界が設定された廈門のコロンス島は今年7月、中国と欧州の様式が融合した建築物や外国人と華僑がもたらした文化の多様性などが評価されて、世界文化遺産に登録されています。アヘン戦争後にヨーロッパ人の居留地となり、各国の領事館なども開設されたことから、豪商や華僑、文化エリートなどが集まって、突出した多様な文化と高い生活水準を持つ国際コミュニティがコロンス島に誕生したのでした。

福建省は海上シルクロードの重要な起点としての歴史も持ち、唐代中期には福建泉州が広州、交州、揚州と並ぶ4大貿易港として栄えました。また、近代中国における5大国際貿易港には、福州と廈門が名前を連ねるなど、多様な沿海都市が揃っています。



唐代に建設された廈門の南普陀寺。大雄宝殿内には過去・現在・未来を表す三尊尊仏が祀られています

# 非対面用クレジットカード決済 JATAweb決済

複雑な設定不要で、かんたんに導入いただけます。  
クレジットカード情報の非保持化に対応! (2018年3月までに実施予定)

**! 事務の迅速、省力化が図れます。**

お客様からインターネットでのクレジットカード決済取引のご要望が今後ますます増えていくことが予想されます。クレジットカード決済手数料の負担が軽減され、手続きも簡便ですので、この機会に貴社のコスト・未収入金を削減し、お客様の利便性向上につながる「JATA web 決済」の導入を是非ご検討ください。

## JATA会員様だけのサービスが登場!

これまで

お客様がご来店またはお振込みでなければお支払いいただけませんでした。



これから

ご来店やお振込みいただかなくても、お客様にメールをお送りするだけで決済可能!  
即日売上確定も可能で不履行のリスクもございません。



※ クレジットカード会社との契約により、旅行会社がおお客様のクレジットカード番号情報をお聞きして代行手続きすることは許可されていません。

特長 ① 優れたクレジットカード手数料 **1.2%** (VISA, MasterCard)

「JATA web 決済」ならではの手数料を適用可能です。

(但し、導入にあたってはクレジットカード会社の審査が必要です。また、決済代行会社・システム会社との契約が必要です。)

※ 1.2%の手数料率は日本国内で発行されたVISA、MasterCardのご利用が対象となります。



特長 ② 導入費用・月額利用料

**無料**

¥0

導入の際の初期費用や月額のコストはかかりません。ご利用にあたっては完成したシステムをお使いいただくため、貴社での開発や複雑な設定も不要で、かんたんに導入いただけます。

お問合せ・資料請求

**株式会社ジャタ**  
Jata Corporation

TEL : 03-3504-1751 FAX : 03-3504-1753  
E-mail : [credit@yu-jata.com](mailto:credit@yu-jata.com)

株式会社ジャタは JATA の会員サポートを目的とする会社です。